

冷え込みの厳しかった今年の冬も終わり、一雨毎に温かさが増し春の訪れが感じられる頃となりました。

3月24日、神石小学校は第55回卒業証書授与式を挙行し、14名の卒業生が神石小学校を巣立ちます。今年度においても、保護者、教職員と在校生代表に見守られながらの式典となりますが、式終了後には、在校生も見送りの列に加わり、卒業生の門出を祝ってくれます。



<昨年度はできなかった「6年生を送る会」3月5日>

これまで当たり前だったことができにくくなったコロナ禍ではありますが、卒業生は学校のリーダーとして、立派に神石小の伝統を引き継いでくれました。多くの行事や学校生活が中止・変更となる中で、戸惑いや残念な思いもしたことでしょう。でも、この1年間で、当たり前であることの有難さや感謝の大切さ、工夫して新しいことを創り出す喜びなど多くのことも学ぶことができたと思います。卒業生の皆さんには、今まで毎日成長を見守って下さったご家族の方や多くの地域の方々への感謝の気持ちを持ちながら、新たな目標に向かって進んで行ってほしいと思います。

最後になりましたが、これまで子供達を地域の宝として見守り、温かなご支援ご指導をくださいました地域の皆様、誠にありがとうございました。14名の卒業生は学舎を巣立って行きますが、これからも変わりなく、在校生達を見守り励ましていただきますようお願い申し上げます。また、この一年間、神石小学校に対しまして皆様から戴きましたご理解とご協力に心から感謝申し上げ、年度終わりのご挨拶といたします。

校長 爲平 祐嗣